

2018.11.16 第12期新宿区環境審議会第2回

持続可能な社会に向けた 東京2020大会の取組みと私たちの暮らし



崎田裕子

ジャーナリスト・環境カウンセラー

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
「持続可能性DG」「資源管理WG」座長

2018 YUKOSAKITA

IOCは世界の課題解決への貢献を宣言



- 1994
スポーツ・文化・環境
- 2014
オリンピックに
持続可能性を導入
- 2015
国連SDGs採択

資料:IOCおよび国連広報センターHPから



- 2016
IOC持続可能性戦略



INFRASTRUCTURE
AND NATURAL
SITES



SOURCING AND
RESOURCE
MANAGEMENT



MOBILITY



WORKFORCE



CLIMATE

■ 持続可能性に舵を切った2012年ロンドン大会 2014年NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット調査より

2018 YUKO SAKITA & NPO GENKI Net for Creating a Sustainable Society

ロンドン2012大会の規模は？

再開発総面積 7km²
競技場数 31
大会関係者 28万人
チケット購入者 1,100万人
食事の用意 1,550万1



環境・経済・社会へ影響の大きい
メガスポーツイベントを
「地球一個分の暮らし」をテーマに
「持続可能性」を視野に開催



Melody Abloia, Senior Consultant, Operational Performance
Rainer Zimmann, UKMEA Waste Business Leader

ARUP



2018 YUKO SAKITA



持続可能な理念・計画・基準づくり



LOCOG 2007 「持続可能性計画」

- ①気候変動への対策
- ②廃棄物の最小化
- ③生物多様性の保全
- ④インクルージョン
社会的包括性
- ⑤健康な生活

- ・ 2013年までにオリンピックパークの施設からのCO2排出量を50%削減。
- ・ 大会後オリンピックパークで使用するエネルギーの20%を、公園内の再エネでまかなう。
- ・ 大会期間中は低排出ガス車両を使用する。
- ・ 解体廃棄物の90%をリユース・リサイクルする
- ・ 建設資材の20%はリユース・リサイクル資材を
- ・ 建設資材の90%を埋め立て以外の方法で処分
- ・ 大会開催中に発生する廃棄物の70%をリユース・リサイクル、あるいは堆肥化する

サステナブルイベント ガイドライン2009

例えば、物品・サービスの調達基準

1. どこで作ったか？（まず地域産・国内産）
2. 誰が作ったのか？
3. 何でできているか（リユース・リサイクル可？）
4. 包装材は？
5. 使用後の再使用は？再利用は？

「持続可能な調達基準」 包装材・フードビジョン

➤ 国際イベントマネジメントシステムISO20121へ

■フードビジョンを実現する指針

- ①地元産（輸送CO2削減）
- ②持続可能な農業
- ③オーガニック
- ④季節の野菜
- ⑤フェアトレード
- ⑥栄養バランスに優れたメニュー

「レッドトラクターマーク」「海のエコラベル・フェアトレード・FSC認証」



例えば、食料調達・食品ロス削減とレガシー構築に向けて 2012ロンドン・オリンピック・フードビジョン

- 関連施設で1550万食分を調達して準備
- 目標は最低と最高を設定（品目は、肉・魚・コーヒーなど多種）



- ① 最低目標はレッドトラクターマークの食材であること
（イギリスの食品は、トレサビリティの遵守を求められている。）
- ② 3つの認証重視 （国際社会環境認定表示連合ISEAL が協力）

FSC認証



海のエコラベル



フェアトレード



17,000人が滞在した選手村を
2,800戸の賃貸住宅に改修
将来は3万人が住む環境都市に



持続可能な社会に向けたメガイベントの役割 「オリンピックのレガシー」は未来への懸け橋！

- 「**持続可能な社会実現の好機**」として
事業者、市民、NGOが連携し、
くらしを豊かにする社会システム創造を計画。
- 「**共創した**」成果を「**レガシー**」として活用。
メイン会場はオリンピックパークとして。
選手村は新しい子育て世帯の集う活力あるまち。
認証食材を扱う店や、
自転車通勤・スポーツする人も増加。

東京2020大会を、
次の暮らし・仕事・街づくりをめざす契機に！

リオ2016からバトンを受けて



👉 リオ大会ボランティア（組織委員会等のHPより）

📷 撮影：崎田裕子



②持続可能な社会に向けた『東京2020大会』の取組みと私たちの暮らし

①オリンピック・パラリンピックの
環境・持続可能性への取組み
～ロンドン・リオ大会から～



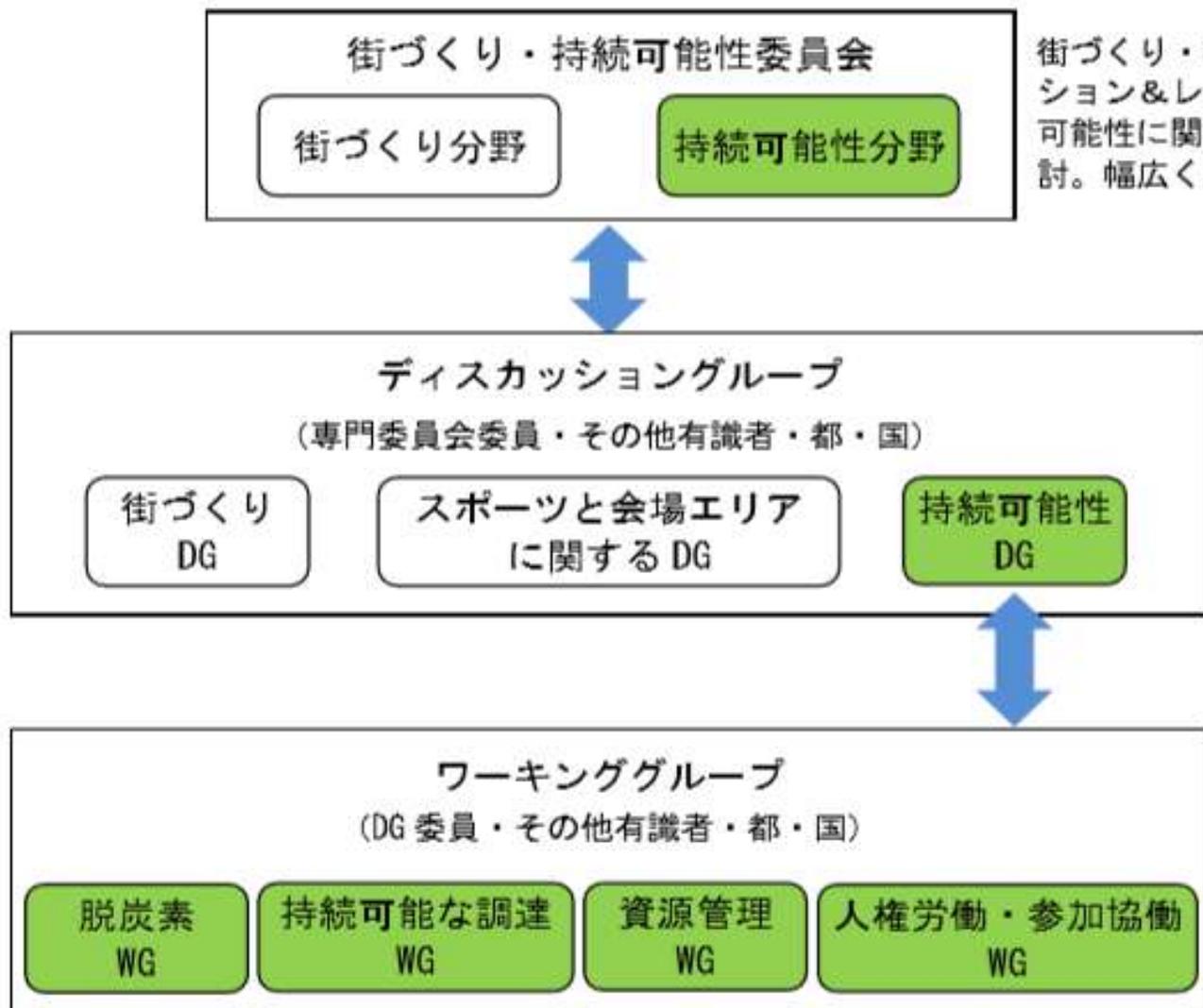
②東京2020大会の持続可能性に配慮した運営計画

③大会に向けて、市民・地域の
取組みの可能性



持続可能性を 東京2020大会のレガシーに！

東京オリンピック・パラリンピック競技大会 組織委員会資料



街づくり・お
ション&レ
可能性に関
討。幅広く



Tokyo 2020
東京 2020 オリンピック・
パラリンピック競技大会
持続可能性に配慮した運営計画
第二版

2018年6月

公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

TOKYO 2020



Be better, together

より良い未来へ、ともに進もう。

気候変動

脱炭素社会の実現に向けて

資源管理

資源を一切ムダにしない

大気・水・緑・生物多様性等

自然共生都市の実現

人権・労働、公正な事業慣行等への配慮

多様性の祝祭

参加・協働、情報発信

パートナーシップによる大会づくり



Be better, together

より良い未来へ、ともに進もう。

これまで深刻な公害問題等を克服し、成熟社会となった日本及び東京は、今、気候変動や天然資源の枯渇の懸念、生物多様性の喪失、差別等の人権問題や高齢化など、持続可能性に関する世界共通の課題に直面しています。

東京2020大会を通じて、持続可能な社会の実現に向けたこれまでの取組を発展させ、課題解決のモデルを国内外に示していきます。

「Be better, together／より良い未来へ、ともに進もう。」を大会の持続可能性を包括するコンセプトとし、様々な方々と連携しながら主体的に取り組むことで、その責任を果たしていきます。

地球及び人間の未来を見据え、「誰一人、取り残さない」を掲げる持続可能な開発目標（SDGs）に貢献するとともに、将来の大会や国内外に広く継承されるよう取り組んでいきます。

5つの主要テーマの目標と主な取組

① 気候変動: Towards Zero Carbon (脱炭素社会の実現に向けて)

再生可能エネルギー電力による大会運営、競技会場の省エネルギー化 等

② 資源管理: Zero Wasting (資源を一切ムダにしない)

調達物品の99%を再使用・再生利用、日本の木材活用リレー 等

③ 大気・水・緑・生物多様性等

: City within Nature/Nature within the City (自然共生都市の実現)

競技会場における雨水の循環利用、在来種の植栽 等

④ 人権・労働、公正な事業慣行等への配慮

: Celebrating Diversity ~Inspiring Inclusive Games for Everyone~

(多様性の祝祭 ~誰もが主役の開かれた大会~)

国連「ビジネスと人権に関する指導原則」への準拠、Tokyo2020アクセシビリティ・ガイドライン 等

⑤ 参加・協働、情報発信(エンゲージメント)

: United in Partnership & Equality ~Inspiring Inclusive Games for Everyone~

(パートナーシップによる大会づくり ~誰もが主役の開かれた大会~)

都市鉱山からつくる! みんなのメダルプロジェクト、東京2020参画プログラム 等

組織委員会資料より

Be better, together

より良い未来へ、ともに進もう。

(SDGsとの関わりの例)

気候変動：ゴール 7, 8, 11, 12, 13, 15, 17 等
既存競技会場や公共交通網の活用 (SDG11、12、13)
再生可能エネルギーの最大限の利用 (SDG7、13)

資源管理：ゴール 8, 9, 11, 12, 14, 15, 17 等
資源の循環利用、資源効率の最大化 (SDG12)
サプライチェーンを通じた資源採取の影響や
環境負荷の削減 (SDG14、15)

大気・水・緑・生物多様性等：ゴール 2, 3, 6, 9, 11, 12, 14, 15, 17 等
生態系ネットワークの回復・形成、環境の快適性・レジリエンスの向上

人権・労働、公正な事業慣行等への配慮：ゴール 1, 4, 5, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 16, 17 等
国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」に則った大会の準備・運営
ダイバーシティ&インクルージョン (D&I) の最大限の確保

参加・協働、情報発信 (エンゲージメント)：ゴール 16, 17 等
多様な主体の参加・協働による大会の準備・運営
大会を通じた持続可能性に資する取組、技術、経験・知見等の発信

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

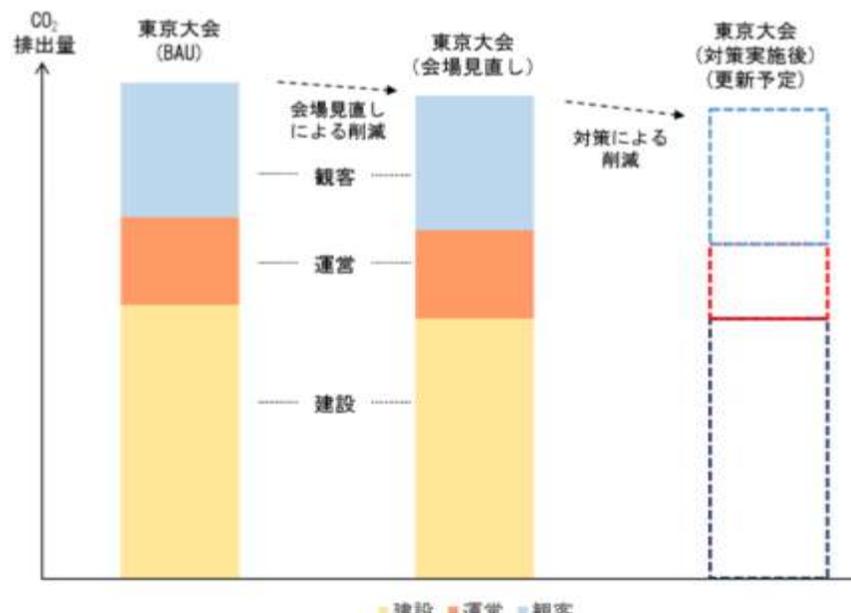


① 気候変動: Towards Zero Carbon (脱炭素社会の実現に向けて)

パリ協定がスタートする2020年に開催される東京大会において、可能な限りの省エネ・再エネへの転換を軸としたマネジメントを実施することにより、世界に先駆けて脱炭素化の礎を全員参加で築く。

＜主な取組＞

- 既存会場の活用(競技会場全体の約6割)や、省エネルギー化等により会場整備における環境負荷を低減
- 競技会場、IBC(国際放送センター)／MPC(メインプレスセンター)、選手村で使用する電力について、再生可能エネルギー電力を100%使用
- 公共交通機関や燃料電池自動車の活用等により。環境負荷の少ない輸送を推進

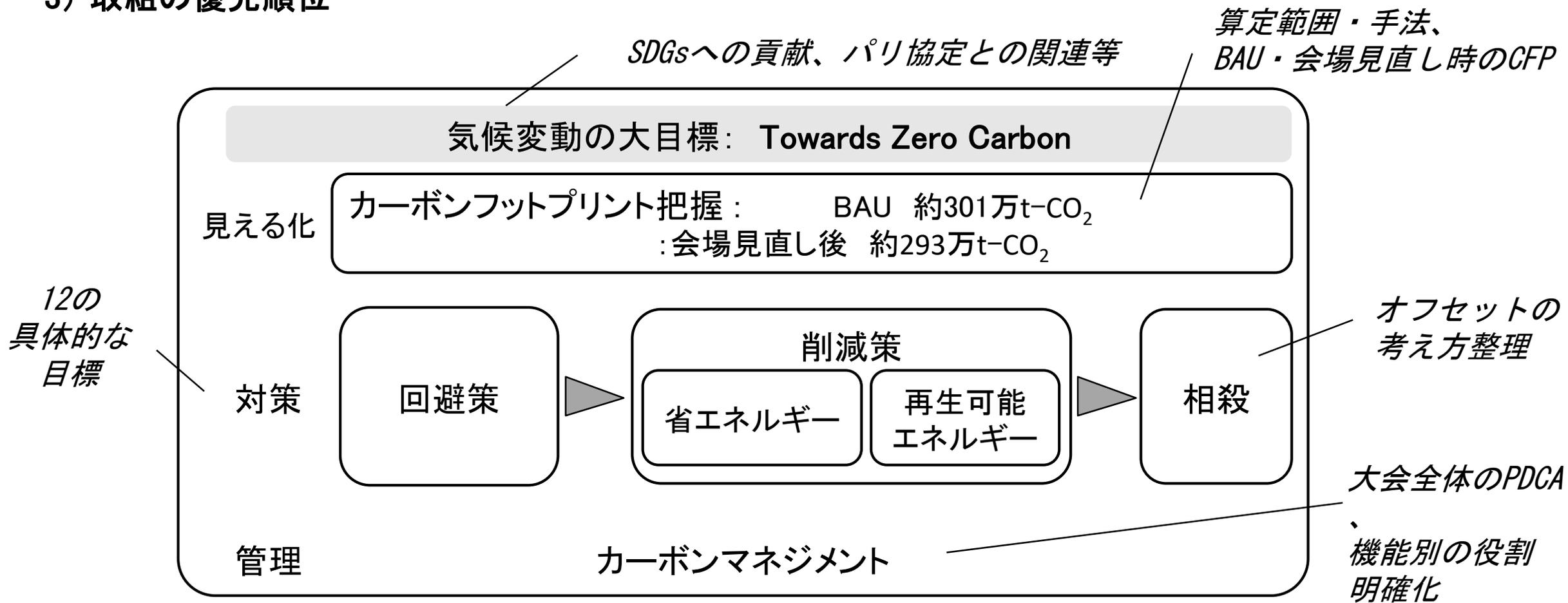


東京 2020 大会の CFP

区分	東京 (BAU)	東京 (会場見直し等による削減)	ロンドン (BAU) (ご参考)
建設	166 万 t-CO ₂	158 万 t-CO ₂	173 万 t-CO ₂
運営	53 万 t-CO ₂	53 万 t-CO ₂	46 万 t-CO ₂
観客	82 万 t-CO ₂	82 万 t-CO ₂	67 万 t-CO ₂
輸送インフラ	該当なし	該当なし	59 万 t-CO ₂
合計	301 万 t-CO ₂	293 万 t-CO ₂	345 万 t-CO ₂

組織委員会資料より

3) 取組の優先順位



SDGsやパリ協定を実現するうえで重要な転換点となるよう、大会により脱炭素化の礎を築き、気候変動に係るCO₂排出回避・削減・相殺及び全体のカーボンマネジメント等について、大会の計画を策定

4) 気候変動分野の目標

区分		目標
排出回避	建設	1.既存会場や公共交通網を最大限活用する戦略的な会場計画
		2.会場建設における環境性能の確保
	運営	3.環境性能の高い物品の最大限の調達
排出削減	建設	4.省エネルギー技術を積極的に導入した会場の建築
		運営
	6.会場運営におけるエネルギー管理の実施、及び新規恒久会場におけるBEMSの導入と活用	
	7.物品の最大限の循環型利用による、CO ₂ 排出抑制	
	8.環境負荷の少ない輸送の推進	
9.CO ₂ 以外の温室効果ガス(HFC類等)の最大限の削減		
再生可能エネルギー	建設	10.恒久会場における再生可能エネルギー設備の導入
	運営	11.再生可能エネルギーの最大限の利用
相殺		12.対策を講じても発生することが避けられないCO ₂ 等に対するオフセット等の実施

脱炭素都市へ 選手村の水素等エネルギー活用の期待

大会後に5650戸の街に改修 ※東京都市街地再開発事業

東京2020大会後の選手村(イメージ)
※東京都都市整備局資料

- ・賃貸・分譲5650戸
- ・高層棟は50階建て
- ★家庭用燃料電池
- ★多様な生活支える街



←福島県の再エネを活用し
CO₂フリー水素推進めざし
福島県・東京都・研究機関
の4者協定



エネルギー整備計画の全体像

「選手村地区エネルギー整備計画」より



組織委員会資料より

② 資源管理: Zero Wasting (資源を一切ムダにしない)

サプライチェーン全体で資源をムダなく活用し、資源採取による森林破壊・土地の荒廃等と、廃棄による環境負荷をゼロにすることを目指して、全員で取り組む。



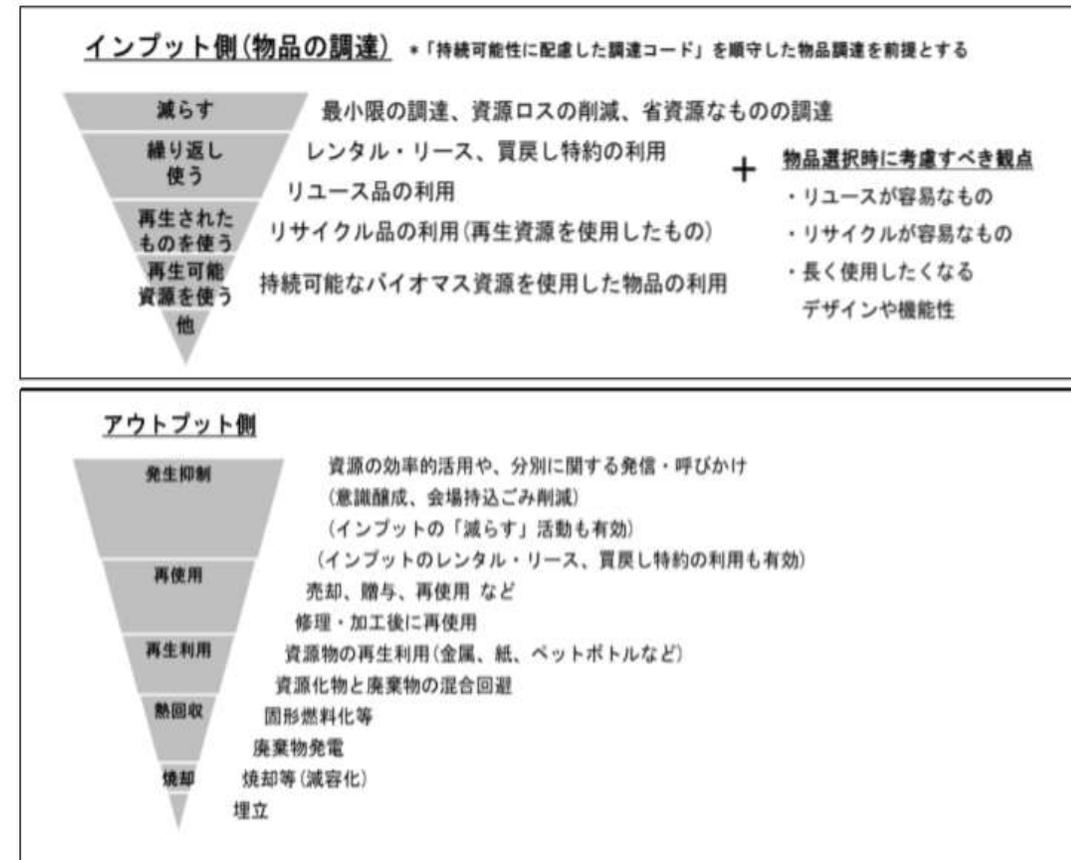
資源管理分野の重要な要素の概念図

<主な取組>

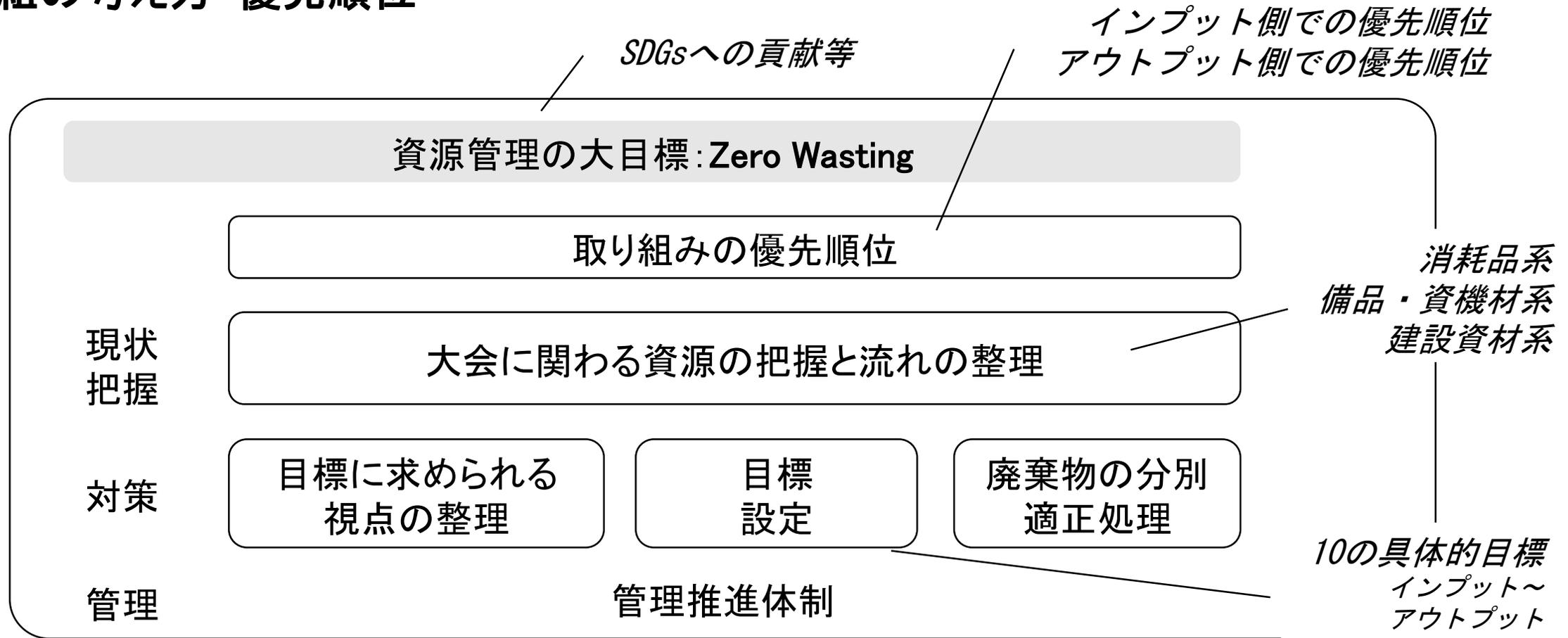
- 調達物品の99%を再使用
(レンタル・リース含む)・再生利用
- 運営時廃棄物の65%を再使用・再生利用
- 「日本の木材活用リレー
～みんなで作る選手村ビレッジプラザ」等により、再生可能資源の利用を促進



資源管理分野における優先順位の考え方



3) 取組の考え方・優先順位



大会において資源をムダなく活用し、SDGsのゴール12「持続可能な消費及び生産の形態を確保する」を実現するうえで、大きな契機となるよう、大会の計画を策定

4) 資源管理分野の目標

		目標	
		インプット側	アウトプット側
人間・社会 活動の側面	リデュース	1.食品ロス削減(食品廃棄物の発生抑制) 2.容器包装等削減 3.調達物品のレンタル等活用による新規物品製造削減	
	リユース	3.調達物品の再使用(レンタル・リースの活用、使用後の再使用)・再生利用	
	リサイクル	4.再生材の利用 5.入賞メダルへの再生金属利用	6.運営時廃棄物等の再使用・再生利用 7.食品廃棄物の再生利用 8.建設廃棄物の再使用・再生利用
地球環境保全の側面		9.再生可能資源の持続可能な利用(木材等)	10.環境中への排出の削減 (埋立処分量、廃棄物由来CO ₂ の削減)

資源管理目標1：食品ロス削減

(食品廃棄物の発生抑制)



<飲食提供受託事業者>

- ・飲食提供対象者数、競技日程等を考慮するとともに、ICT 技術等も活用して飲食提供数の予測に最大限取り組む

<提供時>

- ・ポーションコントロールなどにより、食べきれぬ量を考慮して料理の給仕量を調節

<選手・大会関係者・観客等への意識啓発>

- ・食品廃棄物抑制の重要性について意識啓発を行う

<計測>

- ・食品廃棄物の計量と見える化に可能な限り取り組む



組織委員会資料より

NPO法人持続可能な社会をつくる
元気ネット資料より

循環都市へ「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」

携帯電話は、鉱山の金含有率の80倍・銀は9倍。
資源の効率的活用が世界課題の今、みんなが参画し、
メダルのために携帯や小型家電を回収をする初の大会に！



みんなの想いが集まって

携帯電話やパソコン等
小型家電を全国各地で回収

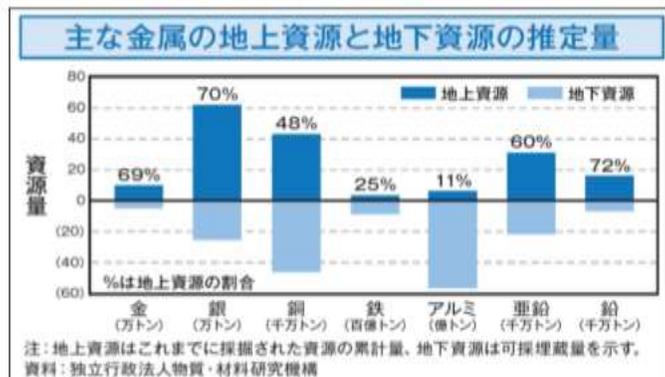
東京2020メダリストへ

小型家電から抽出した
リサイクル金属でメダルを製作

資源をより活かす社会に

資源の有効活用をより重視する
さらに持続可能な社会へ

- ・金銀銅メダル各1666個に必要な金・銀・銅・亜鉛・錫・合計2t(材料ロス含め約8t)
- ・リサイクル材の回収・処理・精錬・納品まで一括管理し、トレサビリティ確保。



図：主な金属の地上資源と地下資源の割合について

持続可能性

都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト！

表：金、銀の含有率

	品種	含有率	1トンあたりの含有量
金	金鉱山	5ppm	5g
	携帯電話	340ppm	340g
銀	銀鉱山	250ppm	250g
	携帯電話	1400ppm	1400g



組織委員会資料より

③ 大気・水・緑・生物多様性等

: City within Nature/Nature within the City (自然共生都市の実現)

大会後のレガシーも見据え、大会の開催を通じて豊かな生態系ネットワークの回復・形成を図り、かつ快適さとレジリエンスを向上させる新たな都市のシステムの創出に寄与する。

<主な取組>

○ 組織委員会、都、関係省庁等が連携した暑さ対策の実施

○ 競技会場におけるろ過施設の導入や雨水・循環利用水の活用等による水資源の有効利用



海水浴体験イベント



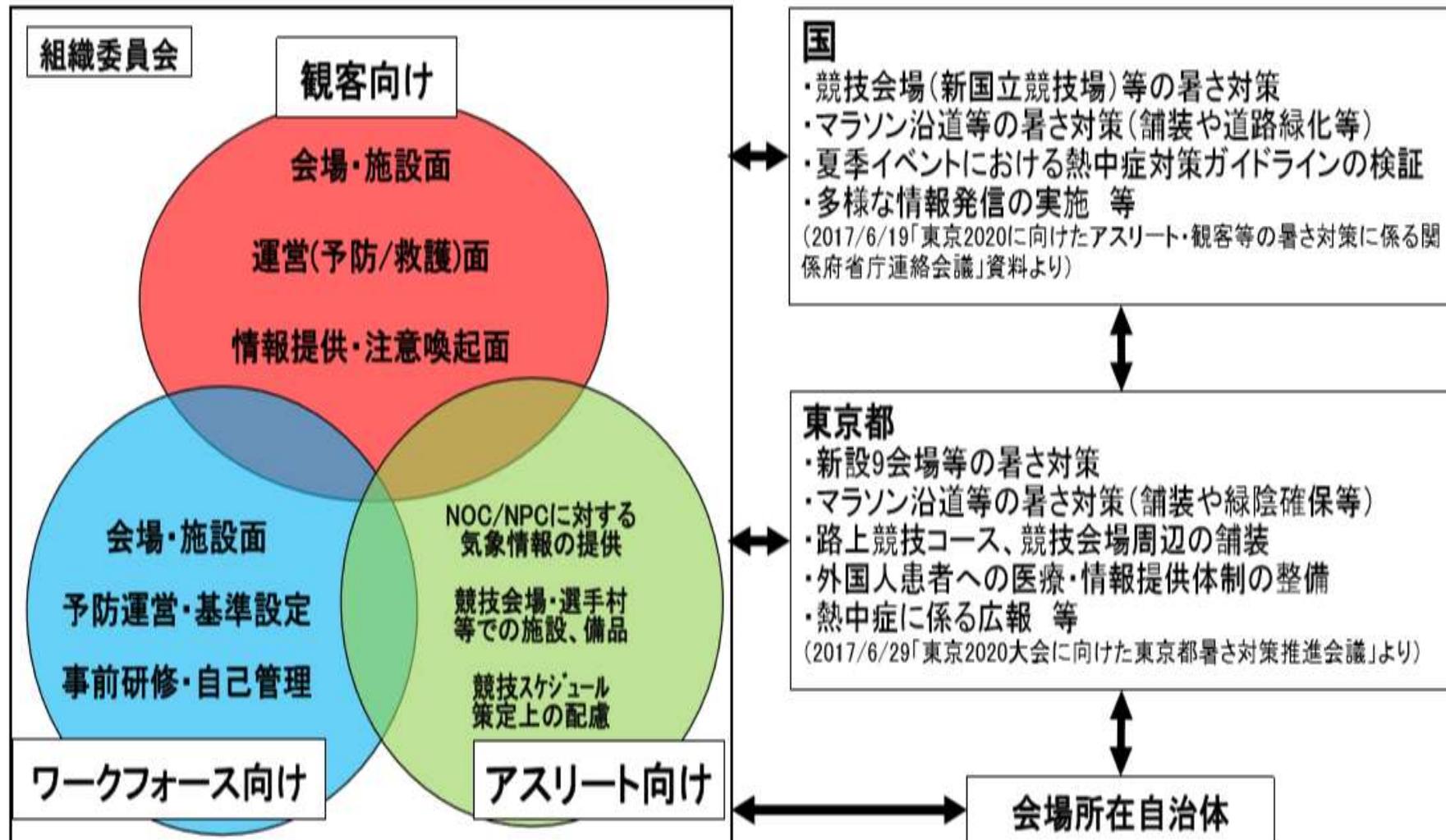
東なぎさと西なぎさ

○ 既存樹木への配慮や在来種による競技会場の緑化等により、海上公園等周辺の緑との調和も図りながら生態系ネットワークを創出

組織委員会資料より

国・東京都と連携した組織委員会の暑さ対策

内閣官房資料より



④ 人権・労働、公正な事業慣行等への配慮

: Celebrating Diversity ～Inspiring Inclusive Games for Everyone～ (多様性の祝祭 ～誰もが主役の開かれた大会～)

大会に関わるすべての人々の人権を尊重するため、ダイバーシティ&を可能な限り最大限確保するとともに、人権への負の影響の防止又は軽減に努める。さらに、腐敗行為や反競争的な取引等に関与しない公正な事業慣行が確保された大会を目指す。

<主な取組>

- 国連「ビジネスと人権に関する指導原則」に則した人権の保護、尊重及び救済
- ダイバーシティ&インクルージョンの意識の浸透
- 「Tokyo 2020 アクセシビリティ・ガイドライン」による大会へのアクセスの確保



⑤ 参加・協働、情報発信(エンゲージメント)

: United in Partnership & Equality

～Inspiring Inclusive Games for Everyone～

(パートナーシップによる大会づくり ～誰もが主役の開かれた大会～)

国境や世代を超えた様々な主体との交流や研修等を通じた参加・協働の推進、及び社会全体で多様な主体が参画するダイバーシティ&インクルージョンとエンゲージメントが確保された社会の構築のため、誰もが主役の開かれた大会を多くの方々の参加・協働により創り上げていく。

<主な取組>

- 「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」を推進
- 「東京2020参画プログラム」をはじめ、国民参加型プロジェクト等による幅広い参加の創出
- 持続可能性に対する理解と行動促進に向けた先駆的取組等の発信
- ボランティアへの持続可能性研修

4. 本計画の実現に向けたマネジメント及びツール

4.1 ISO20121規格に則した持続可能性マネジメントシステム

イベントの持続可能性をサポートするための国際規格であるISO20121の枠組みを導入し、PDCAサイクルによる継続的改善を行うことで、計画に掲げた取組を着実に実行

4.2 モニタリングの適切な実施

ISO20121に基づくモニタリング体制の構築等による組織委員会全体の進捗管理を行い、大会開催前年の2019年春、及び大会開催の前後となる2020年春、冬に報告書を取りまとめ

4.3 様々な主体による検討及び進捗管理

計画策定後においても、専門委員会等の会議体や、専門的知見を有する団体、スポンサー等からの知見を得ながら、取組を着実に実施

4.4 「持続可能性に配慮した調達コード」の策定・運用

物品・サービス及びライセンス商品を対象とする「持続可能性に配慮した調達コード」及びその不遵守に関する通報受付窓口を運用。

また、PDCAの考え方に則り、調達コードの必要な改定を、適切なプロセスを通じて適宜実施

4.5 環境アセスメントの実施

東京都は、大会開催に伴う影響を最小限に抑え、東京の持続可能性の向上に資することを目的に、競技会場、屋外競技、大会計画を対象に大会開催前・中・後の影響を予測・評価

オリンピック・パラリンピック競技会場配置図

(オリンピック競技会場：2018年4月現在 / パラリンピック競技会場：2018年3月現在)

ヘリテージゾーン

□ - オリンピック競技 ▲ - パラリンピック競技

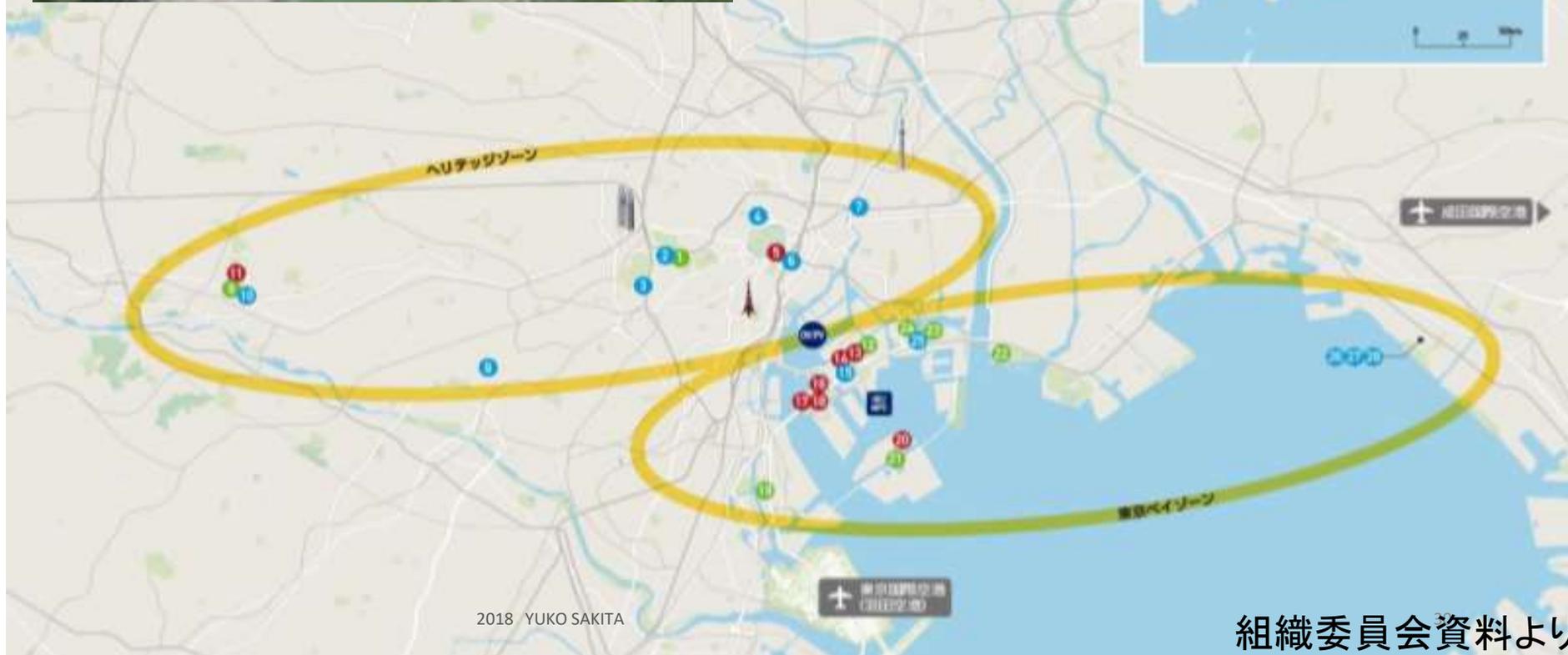
- ① 新国立競技場(オリンピックスタジアム)
 - △ 開会式・閉会式、陸上競技
 - サッカー
- ② 東京体育館
 - △ 卓球
- ③ 国立代々木競技場
 - バドミントン
 - △ バドミントン、ウィルチアアーラグビー
- ④ 日本武道館
 - △ 柔道
 - 空手
- ⑤ 皇居外苑
 - 陸上競技(競歩)
- ⑥ 東京国際フォーラム
 - ウエイトリフティング
 - △ パワーリフティング
- ⑦ 国技館
 - ボクシング
- ⑧ 馬事公苑
 - 馬術(馬場馬術、総合馬術、障害馬術)
 - △ 馬術
- ⑨ 武蔵野の森総合スポーツプラザ
 - パラバドミントン、近代五種(フェンシング)
 - △ 卓いすバスケケットボール
- ⑩ 東京スタジアム
 - サッカー、ラグビー
 - 近代五種(水泳、フェンシング、馬術、レーザークラフト)
- ⑪ 武蔵野の森公園
 - 自転車競技(ロードロードレース・スタート)

東京ベイゾーン

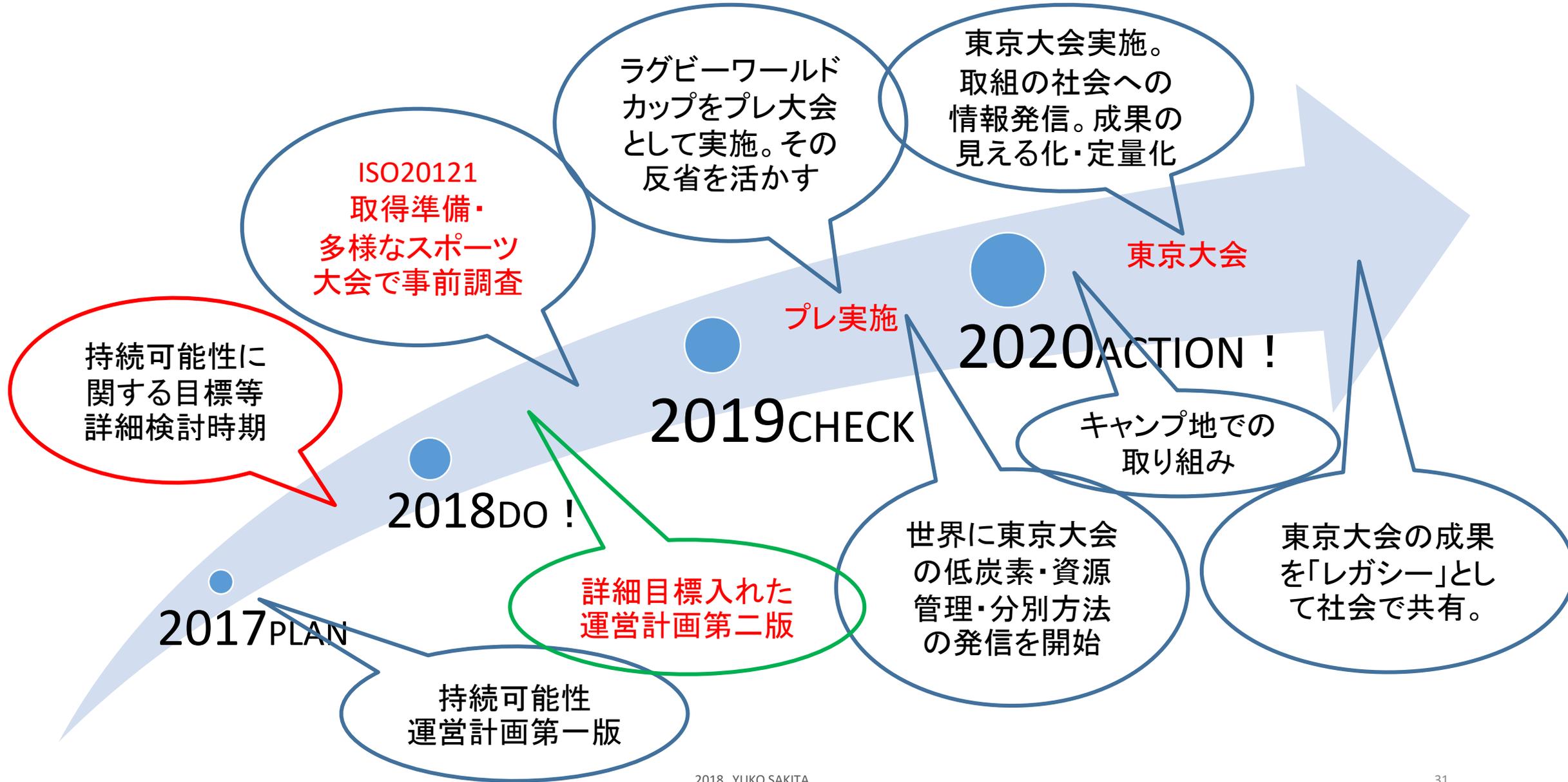
- ⑫ 有明アリーナ
 - バレーボール(ビーチバレーボール)
 - △ 卓いすバスケケットボール
- ⑬ 有明体操競技場
 - 体操
 - △ ボクシング
- ⑭ 有明BMXコース
 - 自転車競技(BMXフリースタイル、BMXレーシング)、スケートボード
- ⑮ 有明テニスの森
 - テニス
 - △ 卓いすテニス
- ⑯ お台場海浜公園
 - △ トライアスロン
 - 水泳(マラソンスイミング)
- ⑰ 潮風公園
 - バレーボール(ビーチバレーボール)
- ⑱ 青海アーバンスポーツ会場
 - バスケケットボール(3x3)、スポーツクライミング
 - △ 5人制サッカー
- ⑲ 大井サッカー競技場
 - サッカー
- ⑳ 海の森クロスカントリーコース
 - 馬術(総合馬術(クロスカントリー))
- ㉑ 海の森水上競技場
 - △ ボート
 - カヌー(スプリント)
 - △ カヌー
- ㉒ カヌー・スラローム会場
 - カヌー(スラローム)
- ㉓ アーチェリー会場(夢の島公園)
 - △ アーチェリー
- ㉔ オリンピックアクアティクスセンター
 - 水泳(競泳、競泳、アーティスティックスイミング)
 - △ 水泳
- ㉕ 東京辰巳国際水泳場
 - 水泳(泳泳)
- ㉖ 幕張メッセ A ホール
 - テコンドー、レスリング
 - △ シンチンバレーボール
- ㉗ 幕張メッセ B ホール
 - フェンシング
 - △ テコンドー、卓いすフェンシング
- ㉘ 幕張メッセ C ホール
 - △ ゴールボール

その他

- ㉙ 釣ヶ崎海岸サーフィン会場
 - サーフィン
- ㉚ さいたまスーパーアリーナ
 - バスケケットボール(バスケケットボール)
- ㉛ 陸上自衛隊朝霞訓練場
 - △ 射撃
- ㉜ 鶴ヶ岡カントリー倶楽部
 - ゴルフ
- ㉝ 江の島ヨットハーバー
 - セーリング
- ㉞ 伊豆ペロドローム
 - △ 自転車競技(トラック)
- ㉟ マウンテンバイクコース
 - 自転車競技(マウンテンバイク)
- ㊱ ビードウェイ
 - △ 自転車競技(ロード)
- ㊲ 福島あづま球場
 - 野球、ソフトボール
- ㊳ 横浜スタジアム
 - 野球、ソフトボール
- ㊴ 札幌ドーム
 - サッカー
- ㊵ 宮城スタジアム
 - サッカー
- ㊶ 茨城カシマスタジアム
 - サッカー
- ㊷ 埼玉スタジアム 2002
 - サッカー
- ㊸ 横浜国際総合競技場
 - サッカー



2020とその先の持続可能な社会へ「レガシー」PDCAロードマップ



東京2020参画プログラム(組織委員会に登録し情報共有)

私たちも機運醸成&文化交流&持続可能なしガシーづくりにはできることは？

～ みんなで参画!&みんなでつながる!～

考えよう!
やってみよう!
東京2020
参画プログラム



組織委員会資料より

東京2020大会の気運醸成イベント

東京2020オリンピック・パラリンピック
1000日前に向けた記念イベント
「子どもスポーツデー」

新宿区東京2020大会区民協議会HPより



区民セミナー

「持続可能な未来」と「私たちの暮らし」

～東京2020大会を契機につくる～

日時：2018年7月8日（日）
13:30～15:30

会場：新宿区立環境学習情報センター
費用：500円（資料代）
定員：35人

2020年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピックは、国際競争力向上、国際交流の促進、国際社会への貢献、国際社会の発展など、SDGsの重要な視点を踏まえ、持続可能性に配慮した大会運営を目指しています。その計画を踏まえながら、大会が新宿の暮らしや私たちの暮らしにどう関わるのかを本セミナーで学びます。

第一部 持続可能な東京2020大会の意義と挑戦
～決定されたばかりの「持続可能性に配慮した運営計画第2版」を解剖する～

講師：荒田 有紀 氏
公益財団法人
オリンピック・パラリンピック
競技大会組織委員会 総務局
持続可能性部 部長

第二部 持続可能な社会を実現する
東京2020のレガシーと私たちの暮らし

講師：崎田 裕子 氏
ジャーナリスト
環境カウンセラー

第三部 意見交換
「新宿に暮らす私たちと東京2020大会」

【申込方法】
①「7/8区民セミナー」
②名前
③住所・電話番号
④メールアドレス
常暗記の上、メール、又は直接
お電話にてお申込みください。
※7/2（月）止

【申込・お問い合わせ】
エコギャラリー新宿
（新宿区立環境学習情報センター）
〒160-0023
新宿区新宿2-11-4新宿中央公園内
Tel : 03-3348-6277
FAX : 03-3344-4434
Mail : info@shinjuku-ecocenter.jp



180708 新宿区立環境学習情報センター 平成30年度 新宿区民セミナー

②参画プログラム

知りたい！ 話したい！

東京2020大会を契機につくる 「持続可能な未来」と「私たちの暮らし」

第一部 「ロンドン・リオ大会の経験から考える

～東京2020のレガシーと私たちの暮らし～

崎田裕子 東京2020組織委員会「持続可能性委員会」委員

第二部 「持続可能な東京2020大会の意義と挑戦」

～「持続可能な運営計画第2版」を解剖する～

荒田有紀氏（公財）東京オリンピック・パラリンピック
競技大会組織委員会 総務局 持続可能性部長

第三部 意見交換「新宿に暮らす私たちと東京2020大会」

～考えよう、私たちにできること～



➤あと2年に迫った東京2020大会は、脱炭素・資源管理・自然共生・人権労働・参加協働などSDGsでも重要な視点を踏まえ、オリンピック・パラリンピックの歴史の中でも、最も持続可能性に配慮した大会運営を目指しています。

➤公表されたばかりの「持続可能な運営計画第二版」を、策定のキーパーソンに直接紹介していただき、新宿や東京の将来や私たちの暮らしにどう関わるのか、一人一人ができることは何か。参加者と共に意見交換しました。

荒田さんへ質問



- 1 パラリンピックに関わるボランティアの人数は？
特に障害のある方へのフォローは重要
 - ☞ 組織委の大会ボラ8万人、東京都の都市ボラ3万人。
- 2 国内在住外国人へ、ボランティアや協力呼びかけは？
 - ☞ ボランティアの内容に応じて、多様な方を公募している
- 3 大会期間中の電車など交通機関はどうなる？
通勤通学へ影響大
 - ☞ 15%削減やフレックスタイムなど、呼びかけている
- 4 フードロスに関心。食品廃棄物は燃やさず活用を！
 - ☞ 発生抑制、ICT活用予測、フードバンク検討。再生利用。
- 5 ロンドンオリンピックにない、東京らしい特徴はなにか？
 - ☞ 選手村の再生可能エネルギー利用100%目標など。
丁寧な資源分別は日本の財産。



2020大会を契機としてこんなことが実現できるとよい (29年度第2回協議会のアンケートなどから)

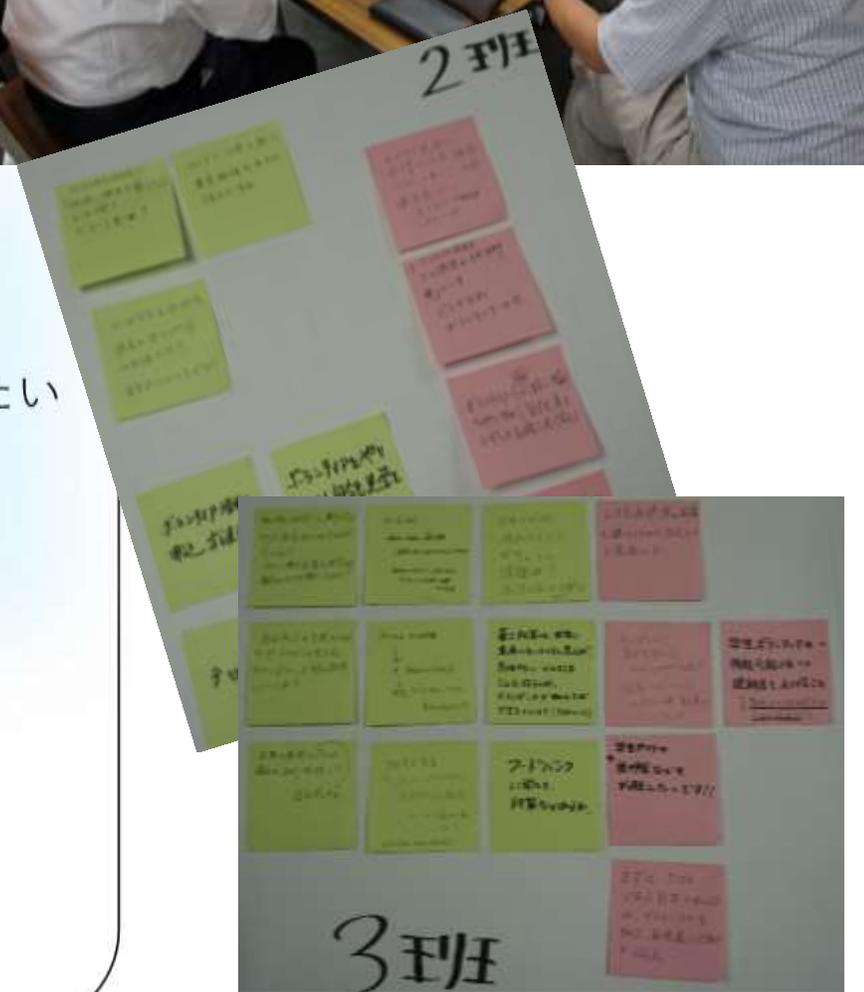
- ・子どもたちに実際の競技を見せたい
- ・子どもたちに思い出に残るような体験をさせたい
- ・2020年を機に団体のPRをしたい
- ・地域の行事に大会の要素を取り入れて活性化を図りたい
- ・あらゆる方がスポーツをする機会をつくり、健康的な生活習慣を広めたい
- ・パラスポーツが誰でも楽しめるものであることを知ってほしい
- ・障害がある方も色々な活動ができることを知ってほしい
- ・ボランティア気運を盛り上げたい
- ・日本の伝統文化芸術を広めたい
- ・新宿の多様な魅力を広く知ってもらいたい

こういったことをしたいが、
どうしたら実現できる？



こういった手法は？

自分たちに
どういうことができるか？



考えよう、私たちにできること！

- 1 これほど大きな大会はない。将来に伝えるため学生など若者が、環境・持続可能性・ビジョンや理念など学ぶ場づくりを！
- 2 資源分別やパラリンピックボラなど、協力できることはたくさんある。
- 3 学生やボラ、日本の市民と、海外から参加するボラと交流機会を
- 4 いいボラ活動がレガシーとして続くよう、表彰する仕組みがあっても
- 4 空いた不動産を活用して小規模イベント・食品ロス削減の取組
スポーツごみ拾いなど。
- 5 SDGs、エシカルなど期待されてるが、若者も捨てたものじゃない。
ワールドカップ会場でのごみ拾いやきれいなロッカールームなど
素晴らしい。資源分別の徹底・おもてなしなど、日本の文化伝えたい
☞ 区から。区民の心に残るものにしたい。区民協議会9月にまとめ。
学生や皆さんが自発的に考えてくれるのは嬉しい。サポートしたい。

エコギャラリー新宿「東京2020参画プログラム」 日本文化ワークショップ「伝統文化×持続可能性」

Nippon & GO!!
WELCOME TO JAPAN

ようこそ 和菓子の世界へ
～和菓子について 知ろう・作ろう・話そう！～

神楽坂の有名和菓子店・森花亭代表 井上泰正のご指導のもと、日本の伝統文化に触れて頂きたい。ご満足な和菓子作り体験です！

講師：井上 泰正
森花亭代表 京都府京都市中京区

日時：2月17日(土) 13時～16時
料金：1000円 (材料費・お茶費)
会場：エコロン、三島亭
対象：中学生以上4名以上 (コース・参加費別)

応募方法
① 申込書「ようこそ和菓子の世界へ」
② 氏名・年齢
③ 住所・電話 (FAX)
④ メールアドレスを明記し、
⑤ メール・FAX・ウェブサイトで
エコギャラリー新宿事務局まで申し込み
下さい。ご返信お待ちしております！
2月10日(土) 必着

申込・会場：エコギャラリー新宿
新宿区西新宿3-11-4 新宿中央公園内
TEL: 03-3346-6277 FAX: 03-3346-6434
E-MAIL: info@shinjuku-ecocenter.jp



むす美HPより



詳しくはこちら

- ①「ようこそ 和菓子の世界へ」 ③「活用は無限大FUROSHIKI」2019,2,24

新宿区「東京2020大会開催に向けたロードマップ」新宿区東京2020大会区民協議会HPより

